

講演題目：

耐震設計審査指針の改訂と新潟県中越沖地震の教訓

入倉孝次郎

講演概要：

2007 年の新潟県中越沖地震は原子力発電所の極近傍で発生し、発電所の建物・施設が震度 7 の強震動の直撃を受けた。原子炉など安全上重要な設備に被害は報告されていないが、このような大きな地震が原子力発電所の近くで起こったのは国内外で初めてであり、発電所のさらなる耐震安全性の確保に向けた課題が明らかになりつつある。一方、新潟県中越沖地震が発生する前年の 2006 年に、「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」が改訂された。この改訂指針には、1995 年以降の活断層調査や地震動予測を始めとする耐震設計技術の著しい進歩が反映された。現在、改訂指針を受けて電気事業者による既設原子力発電所の耐震安全性評価が進められている。今回の新潟県中越沖地震の最新知見を踏まえ、原子力発電所の耐震安全性の確保について、今後検討すべきことは何かについて考える。